

第 6 回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和 5 年 12 月 27 日（水曜） 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで
会 場	中央区役所 5 階 対策室
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">委 員</div> <p>渡辺(雅)委員、玉木委員、豊島委員、米倉委員、高田委員、伊藤委員、樋口委員、山岸委員、吉岡委員、小林(栄)委員、渡邊(俊)委員、小林(寿)委員、田中(雅)委員、渡部委員、佐藤委員、八木委員、高橋委員、森本委員、松川委員、桐生委員、若木委員、北川委員</p> <p>出席 22 名 欠席 10 名 (上之山委員、唐沢委員、野澤委員、鈴木委員、長谷川委員、井上委員、中嶋委員、高見委員、田中(晴)委員、小奈委員、)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">事務局・説明者</div> <p>[新潟市教育委員会] 教育支援センター所長、中央図書館長補佐 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p style="margin-left: 40px;">○ 会議の成立について 委員 32 名中 22 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝佐藤会長）</p> <p>（議 長）</p> <p>皆さん、こんにちは。今回は雪があまりにも急激にたくさん降りましたので、急ぎよ中止にさせていただきました。ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。</p> <p>まず、次第をご覧になってください。今日は議事が一つと報告事項が二つ、その他で閉会です。</p> <p>（1）令和 6 年度中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について （意見集約）（資料 議 1）</p>

(議 長)

それでは、早速、議事に入ります。「議事 (1) 令和6年度中央区特色ある区づくり予算 (区役所企画事業) について (意見集約)」です。これは、前回の全体会で皆様のご意見をお聞きして、それから各部会で関連する議題をいろいろ討議していただき、それがまとめ上がりました。本日、皆さんで決を採って、市長に報告という形にしたいと思っております。

それでは、各部会から報告していただきたいと思えます。まず、第1部会の所管分野の事業について、松川委員、よろしくお願いします。

(松川委員)

よろしくお願いします。第1部会の松川です。

第1部会の意見をまとめてご説明します。1番の「ぐるっとサイクルツーリズム事業」について、令和6年度は沼垂、鳥屋野潟、駅南方面も対象として設置して、自転車利用等の社会実験を実施しますということで説明がありました。新潟日報にも載っていましたが、利用が予想より多く、好調な滑り出しと聞いています。

第1部会としての意見ですが、シェアサイクルポートが少し分かりづらいところがあるという意見がありました。それと、日常使いにはけっこう使われているようで、若者が利用するのもよく見るのですけれども、観光のアイテムとして使えないかということで、例えば、シェアサイクルで回遊することで、協力店で特典が受けられるなど、まちなかの活性化にも利用できないかと意見を出させていただきました。

次に8番の「だれでも2kmストリート」ということで、所管は第1部会と第2部会ですが、代表して私から概要と意見を説明させていただきます。ウォークブルな空間形成に向けて、バリアフリーの観点から誘導ブロックの整備を行い、だれでも快適な移動ができるエリアの実現を目指す事業です。誘導ブロックは視覚障がいのある方以外には逆にバリアになることもあるため、設置場所や使う材質等にも配慮しながら設置してほしいという意見が出ました。また、視覚障がい者の歩行導線を考慮して設置してほしいという意見も出ました。

障がいというものもさまざまありまして、視覚障がいの人だけを考えると、逆にほかの障がい者の障害になってしまうということで、なかなか大変なことなのですが、その辺を考慮して設置を進めてほしいという意見がありました。

第1部会からの意見は以上です。

(議 長)

ありがとうございます。

続きまして、第2部会は米倉委員からお願いします。

(米倉委員)

第2部会の米倉です。よろしくお願いします。

6番の「都市公園活性化事業（インクルーシブ公園）」ですけれども、インクルーシブ公園として、障がいの有無に関わらず一緒に遊べる公園をつくっていくという事業になります。第2部会の意見としましては、インクルーシブ公園と言いますけれども、インクルーシブという言葉自体なじみがなく、一体どのようなものなのかと疑問になる方が多いと思うので、それを知ってもらうような取組みも必要ではないのかという意見がありました。あと、自治会、町内会が管理に関わっている公園は、自治町内会に理解を得てから整備を進めてほしいという意見が出ました。第2部会は以上になります。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、第3部会です。田中（雅）委員、よろしくお願いします。

(田中（雅）委員)

第3部会、湊地区コミュニティ協議会の田中です。

第3部会は、三つの事業についてご説明いただきましたが、まず、今ほど、第2部会で出てきた「都市公園活性化事業（インクルーシブ公園）」に関連し、7番の「都市公園活性化事業（特性を活かした活性化）」です。これは、都市部にある大規模な公園を活性化させ、区の魅力を創出するという事業ですが、白山公園と弁天公園に場所を絞り、力をいれることはとてもいいことだという意見が出されました。

続きまして、4番の「鳥屋野潟環境啓発事業『とやの物語』」は、鳥屋野潟の環境をみんなで良くしようという事業を継続してやっておられるということで、区だけではなく、さまざまな団体が活動されているということで、複合的な働きかけがとても大事だと。第3部会としても鳥屋野潟の問題を集中的に取り上げようということになりましたので、引き続き注視していこうと思います。

続きまして、5番の「区民協働森づくり事業」です。これは防風対策として汐見台周辺の海岸林で植樹、管理などに取り組んでいるのですけれども、近隣のコミュニティ協議会等が同じように独自に取組みをされていますので、複合的な取組みが今後も必要であろうという意見が出ました。

(議長)

田中（雅）委員、ありがとうございました。

続きまして、第4部会です。今回、唐沢委員が欠席のため、北川委員、よろしくお願いします。

(北川委員)

第4部会副部会長の北川です。私からは、2番と3番についてお話ししたいと思えます。

まず、2番の「地域のお宝！再発見事業」ですけれども、担当者から、引き続き、「えんでこまち歩き」やまち歩き冊子を活用した企画に取り組みますということで、説明をいただきました。第4部会としては、ただ歩いて回るということではなくて、もう少しステップアップして、食や酒、体験というものも盛り込んだような企画にしてもらえないとか、回数を重ねるごとに何か特典をあげられるようなスタンプカードみたいなものもご用意してはいかがかということで、意見いたしました。

3番の「みなとまち新潟 次世代に向けた古町芸妓魅力発信事業」に対しては、若者が芸妓を身近に感じられるような企画を検討してほしい、芸妓のなり手が少なくなっているが、芸妓というのは新潟のエンターテイナーであるので、もっと多くの方に知っていただきたいという意見がありました。あと、新潟の踊り文化を200年支える流派ということで、「市山流」をもう少し皆さんに知っていただけるような企画などがあるというように意見いたしました。

(議長)

ありがとうございました。

それでは、今、説明していただいた内容で市長に回答しようと思いますが、皆さん、最後に追加の意見や質問はありますか。

よろしいでしょうか。

では、これで回答させていただきます。ありがとうございました。

3 報告

――委員活動報告――

(1) 委員からの報告について

①信濃川やすらぎ堤利用調整協議会（資料 報1）

(議長)

次に、報告に入ります。「報告(1) 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会」です。田中(雅)委員からよろしくお願ひします。

(田中(雅)委員)

湊地区コミュニティ協議会の田中です。

資料報1をご覧ください。第24回信濃川やすらぎ堤利用調整協議会の報告です。詳

細につきましては、詳しく書いてありますので、資料をご覧ください。ポイントと思った点をご報告します。

まず、議事内容に、売り上げは約9,900万円、来場者数は3万4,000人と書いてあるのですけれども、コロナ禍前の2019年が4万人だったのです。年々盛り上がっているように見えていましたが、猛暑で伸び悩んだと思われます。それに比べて9,900万円と、売り上げは過去最高で、それこそ2割もお客が減っているのに売り上げがとても増えているというのは、事業者のいろいろな取組みはもちろんなのですけれども、ミズベリングが認知されてきている証拠ではないかと。あそこでご商売なさっているのは6店舗、営業期間は3か月です。売上の平均をざっくり考えると、1店舗当たり一月500万円売っているのです。あの雨風あり暑さあり、商売できない日もある中で、飲食店が月に500万円売るというのは、少しでも商売に携わったことのある方であれば、すごい数字だなと思うと思います。ただ、あそこはやはり、規制地ですので、10時が門限なのです。10時を過ぎると帰らなければいけないということで、そういう制限がありながら頑張っているということです。

それから、委員から、店のケーブルがランナーの支障になっているのではないかとという指摘がありました。こちらについては最初のころはケーブルがむき出しでしたけれども、だんだんと歩行者、ランナーの邪魔にならないような工夫がされていて、マットが敷かれているということでした。

先般、新潟日報にもミズベリング事業の報告のような記事が出ていまして、かなり認知されてきていると。それに対して、9月で終わるのではなくて、10月以降もやったらどうかという意見が委員から出ましたけれども、10月を過ぎると急に寒くなったりする日があるため、厳しいと。また、なぜ4月、5月にやらないのですかとお伺いしましたら、その時期は実施主体であるスノーピークが繁忙期で難しいということで回答をいただきました。

(議 長)

ありがとうございました。

今の田中(雅)委員の報告に対して、質問、意見等はありませんか。

よろしいですか。では私から。先ほど、売り上げが月500万円と言ったのですけれども、個人の飲食店で500万円というのはものすごい数字です。もちろん、その内容にもよるのですけれども、通常の飲食店で、個人営業だと200万円も売り上げれば行列のできる店くらいになるので、大成功だったと思います。

(2) 部会からの報告について (資料 報2-1 2-2 2-3 2-4 2-5)

(議 長)

それでは、また次第にお戻りください。続きまして、報告の(2)、いつものとおり、各部会からの報告に入ります。それでは、まず、第1部会の松川部会長、よろしくお願いいたします。

①第1部会（資料 報2-1）

（松川委員）

第1部会の松川です。よろしくお願いいたします。

11月と12月の部会の内容をまとめてご紹介いたします。日時、会場、出席人数等は資料をご覧ください。

11月の第6回から申し上げます。議題は二つ、最初が先ほどの区づくり予算の意見の提出です。これは重複するので省略いたします。

続いて、2番の部会の取組みですが、10月の部会で古町の活性化に場所を絞ってやるということで決めまして、古町について、何をもって活性化するかということできざまな意見が出ました。結局、食を活かすということがメインになりまして、来てもらうためには駅前や万代との違いをはっきりさせる、何をもって古町を成り立たせていくか、あるいは発信方法、特に交通の面は考えなくてはいけないということできざまな意見が出た結果、11月の部会では、食を活用した古町の活性化を目指すということで、まず、現状を知ろうということになりました。12月の部会では、古町の現状を知るためにまち歩きをして考えていこうということで、意見がまとまりました。

続いて、12月の第7回部会の内容です。このときは、最初から下のアトリウムに委員と事務局が集まりまして、本町、それから古町の6番から8番町、それから人情横丁等を主にまち歩きしながら、町の状況と、課題をどうしたらよいかということで、意見をまとめました。

まず、ルフルから出発したのですけれども、ルフルは普段、イベントがあるときはものすごく盛り上がるが、常時古町の顔として集まるようなしくみづくりができないかという意見がありました。それから、全体を回った後での感想ですけれども、標識の位置が高い、しかも小さい、統一されていない、目立たない、分かりにくいという意見が多数出ました。それから、空き家、空き店舗、空き地が多い。町の規模に対して人が少なく、賑わいに欠けているという意見も出ました。それから、統一されたデザイン、景観になっていないという点ももったいないという意見が出ました。人情横丁でも、寺泊にあるような浜焼きのお店がぽつんとあるので、寺泊のように関東からの誘客ができればよいのではないかという話が出たのですけれども若木さんが言うには、昔はずらっと並んでいたのだが、一つ二つ減って、結局、今、ここに一つしか残っていないということで、こういった特色をもう一回生かせないかということも意見が出ました。

まち歩きは本来50分の予定が2時間近く歩きまして、いろいろな発見がありました。

戻って課題を整理したところ、新潟の食というものは漠然としていますので、それを使った新メニューを公募して、事業者の商品開発をしてもらうことはどうでしょうかということで、一つ意見がまとまりまして、次回、どういった内容を決めて事業者に発注するかという意見をまとめることにしています。併せて、古町の活性化について提言をまとめていこうということで、部会が終了いたしました。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、第2部会にいきます。米倉部会長、よろしくお願いします。

②第2部会(資料 報2-2)

(米倉委員)

第2部会の米倉です。よろしくお願いします。

第6回と第7回の部会についてお話ししたいと思います。まず、日時、出席委員等は資料をご覧ください。また、議題(1)に関しては、先ほどお話ししておりますので省略いたします。

議題(2)の部会で取り組むイベントについてですが、来年は新潟地震60年ということで、イベントを開催することとしていまして、今回、具体的は内容を検討しました。今回出た意見が、起震車体験や防災グッズ展示、相談コーナーといった子ども向けのイベントができればいいのではないかと。あと、会場について検討し、ルフル、本町付近、いくとぴあ食花、大かま等でできるのではないかとという話になりました。

開催時期なのですけれども、やはり、新潟地震が6月16日ですので、その辺に合わせたいかがかということで、6月から7月ごろに開催できればいいのではないかとということになり、11月の部会は終わりました。

そして、12月の第7回につながりますけれども、今度はより具体的に話を決めていこうとしました。日程としましては、6月から7月ごろと話していたのですけれども、6月16日に向けて各地でイベントをやりますので、なるべく早いほうがメディアも取り上げてくれるのではないかとということで、できれば古町どんどんなどと合わせれば集客がいいのではないかとという話も出ました。そして、場所は、やはり、にいがた2kmもありますので、ルフル広場、本町、古町あたりで開催しようということに決定しました。

内容ですけれども、今回は何ができるかということで、羅列したのですけれども、起震車やVR、ARなどを使った体験、パネルの展示、消防音楽隊を呼べたらどうか、7クイズラリーやスタンプラリーで、もし会場が古町、本町と分かれたら会場をつなぐことができればいいのではないかと。とにかく、ターゲットを防災意識があまり高くない

方、若者や子育て世代にしようということで、内容はこれから精査していく予定です。日時はなるべく早く決めたいと思いますので、次回、1月15日に詳しい内容を検討したいと思います。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、第3部会、田中(雅)部会長、よろしくお願いします。

③第3部会(資料 報2-3)

(田中(雅)委員)

第3部会、湊地区コミュニティ協議会の田中です。

第6回と第7回の部会の報告をさせていただきます。

鳥屋野潟について取り組むと決めてから初めての会が第6回でした。鳥屋野潟にはどのような問題があるのかということはこの回で検討したのですが、まず、ご存じではない方も多いと思いますので、二つ、判明して驚いた事実をお伝えしますと、まず、鳥屋野潟は一級河川なのだそうです。もう一つは、全部ではないですが、鳥屋野潟の底は私有地があるのだそうです。簡単に開発できないそうです。今まで、さまざまなレベルの計画や活動がそういった問題で遅々として進まないということがだんだん分かってきました。

それを受けて、第7回の部会では、鳥屋野潟に関わっている人から話を聞けばいろいろ分かるのではないかとということで、鳥屋野潟漁業協同組合、新潟水辺の会、日本野鳥の会の方から詳細な説明を受けました。さて、これを踏まえて、区民目線で、できる範囲で取り組んでいこうと思います。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、第4部会です。北川副部会長、よろしくお願いします。

④第4部会(資料 報2-4)

(北川委員)

第4部会の北川です。

私からは、第6回と第7回のお話をしたいと思います。日時、出席委員などは記載のとおりです。

⑤中央区自治協議会だより編集部会（資料 報2-5）

（小林（栄）委員）

たより部会、白山校区コミュニティ協議会の小林です。よろしくお願いします。

11月6日に部会を開催し、最初に、前回発行した31号の振り返りをしました。まず、長所としては、文字が大きくて読みやすかったということと、部会は8名おりますけれども、全員が1年生であることから、8名が一言ずつ編集の意気込みを書いた編集後記に目新しさがあってよかったという意見が出ました。もう一つは、修正が可能な時期に編集委員以外の委員の方から意見を聞けるといいという意見がありました。ただ、これにつきましては、校正スケジュールの都合上、なかなか難しいのかなとは思っていますけれども、なるべく努力をしたいと思っています。

二つ目は、次回、令和6年2月4日号についての掲載内容と構成について、検討を行いました。その時点で各部会の活動の進捗状況が、誌面作成できるような状況ではなかったこともあって、今回は、もう少し新しい目線で何かを書けるのではないかとということで、中央区自治協議会に2名の学生が委員として活躍しておられますので、このお二人の学生にインタビューし、インタビューした内容等を紙面に掲載したいと考えています。そして、レイアウトとしては、今回の場合は自治協議会の概略図を分かってもらうために何回でもいいから載せる。そのために、申し訳ないですが、会長のあいさつや全体会議の議事などは割愛させていただくことにしました。そして、紙面を大きく取りまして、学生委員の方のインタビュー記事を中心に載せていければいいかなと思っています。

あとは、すでに初校確認を1月15日に行うことが決まっておりますので、そこでまた改めてみんなで意見を出し合って、よりよいものを作っていきたいと思います。どうぞ皆様、ご協力をよろしくお願いいたしますと思います。

（議 長）

小林（栄）委員、どうもありがとうございました。

第1部会から第4部会、そして、たより部会まですべての報告が終わりましたので、皆さんから質問、意見を募りたいと思います。ある方は挙手をお願いします。

（樋口委員）

関屋小学校区コミュニティ協議会の樋口です。

第2部会で、今、進めています、防災に関するイベントの件についてです。関屋田町には自主防災会が五つありまして、これを連合として新しい組織を作りました。第2部会の報告で、新潟日報に依頼して、60年前の新聞を配るという項目がありましたけれども、自主防災会の第1回の防災訓練のとき、新潟地震の時の映像を借りたのです。30

分の映像でしたけれども、それを関屋田町の避難所である新潟高校で、視聴しました。中には実際に経験した方もおられました。改めてその映像を見ると、例えば、東日本大震災ですとか阪神・淡路大震災という映像はけっこう見えていますけれども、実際に白山駅が流され、新潟駅の前のアパートが倒されたと、実際に地元で起きた地震だということを改めて感じまして、大変、反響はよかったです。

6月16日に各小学校や中学校で防災訓練などをやっていますけれども、実際、小学生の方々は、実際に地元で起きた地震というのを見たことがないものですから、これを何とか教材にして学校に配ったらいいのではないかという提案をしました。部会で見ていただいて、活用できるかどうかを検討してみたいかと思っています。

(議長)

ありがとうございます。

米倉部会長いかがでしょうか。

(米倉委員)

ありがとうございます。大変貴重な意見、ありがとうございました。関屋田町でやったという話もちらっと聞いていて詳細を後で聞こうかなと思っていたところです。

確かに、実際、新潟地震を経験した方は、現在、非常に少なくなってきていますので、その辺をアピールできるものがあれば非常に助かります。検討させていただきます。ありがとうございます。

(若木委員)

第1部会の公募の若木です。

今、皆さんの話を聞いていて、非常にみんな共通点があるのだけれども、それぞれで活動しているので、例えば、第1部会と第4部会で一緒に意見交換をして、新潟市ってどういう市かということをもっとはっきりさせたほうがよいと思います。1年ないしは2年で、この協議会としてはどういう町にしたいのだというものをきちんと出さないといけないと思います。

先ほどどなたかが言いましたけれども、外にいると分かるのだけれども、中にいると分からなくなることもあります。新潟市は観光地ではないとはっきり言う人もいます。観光地と言っても、では、ただ神社仏閣があってというのが観光地ではない。もう一回、地勢も踏まえたうえで、この協議会で、部会同士で意見を交換しあって、この協議会としては、新潟市をどういう形にしたいのだということを出さないと、それぞれが同じことをやったりばらばらだったりということがあるので、共通部分の洗い出しや目指す姿の設定を、ぜひやっていただきたいというのが私の意見です。

(森本委員)

新潟水辺の会の森本です。若木委員の意見に私もとても賛成で、観光という言葉が随分変わってきました。温泉地や有名な場所を見て回るというようなものを観光ととらえている人もいますし、先ほど若木委員が言ったような、小路を歩いて、猫がいて、というものがいいというのも今の観光なのです。ですから、観光という言葉は非常に意味が広いので、先ほどおっしゃった話の延長線で言うと、新潟の観光というものの形を具体的にイメージアップし、自分たちが考える新潟の観光の要素をピックアップして、これが新潟の観光なのだということを具体的に示していかないといけないと思います。金沢とか能登とかとかなり差がつけられているのは、独自性、具体性だと思います。これから皆さんで新潟の観光というものを具体的に示していくは重要なと思います。

(若木委員)

公募委員の若木です。

以前、我々の部会で、酒と米と芸妓という話が出てきました。それはそれでいいのだけれども、新潟市をほかの都市とどのように差別化するのかということをもう少し考えて、新しい新潟市をクリエイトするというコンセプトを作らないといけないのかなと思います。

(議 長)

ありがとうございました。今日は部会からの報告、さらに、最初の議題もまちづくりに非常に関係のあるお話なので、これから少しまちづくりについて、ほかの皆さんからも意見を頂戴しようかなと思います。まちづくりについて、せっかくなので意見がある方は挙手をお願いします。

(松川委員)

第1部会の松川です。

第4部会を見ていて、古町花街、芸妓のことにスポットを当てていますが、一緒に写真を撮られたらいいか、どれだけ接するパターンを増やすか、今、観光というのは幅広いとあったのですけれども、見に行くだけではなくて、そこでしかできない体験というものが一つのキーワードになると思います。第4部会で出た、一緒に写真を撮れるようにするとか、そういった具体的な意見をどんどん具体化していければ、金沢にはない、京都にもない魅力を発進できるのではないかと思いますので、第4部会は、検討、提案していただくと、新潟の一つの強みになるのではないかと思います。

私も外から来た人間なので、新潟を外の目で見えてしまうことが多々あるのですが、宝はたくさんあるけれども、磨いていないので、目立たない。ブランド化できていない。ブランド化するには長い時間と多大な努力と多くの人々の連携が必要になりますので、

その辺をずっとやっていくためには、自治協議会全体としてもそういった方向性を一つ提案していくのが必要ではないかと思います。その具体案を各部会で提案して、自治協議会全体として市にも提案し、県にも提案し、マスコミに提案し、SNSでも発信し、幅広くなれば、自治協議会の存在意義もさらに高まっていくし、新潟の活力も上がっていくのではないかと思います。

(議長)

ほかに、私ならこうしたいというものがありますか。せっかく時間がありますので、考えていること、頭に浮かんだことがあったら挙手をお願いします。

(北川委員)

先ほど、第4部会の件について、ご意見、ありがとうございました。第7回の今後の部活動について、主な意見を見ると、非常に芸妓に関する意見が多いのですが、まだ実は芸妓とは決まっていなくて、これからどういう方向性になるのか揉んでいこうということになりました。中でも、既存のものではなくて、例えば、ジャズだとか、新潟は面白いところがたくさんあるではないかという意見もありました。

先ほどいただいた意見なのですけれども、モノというよりはコト消費ということで、私もそれには賛成で、また改めていろいろと考えていかないといけないかなと思っています。

芸妓については、先日、新聞を見ていたら、ふるまち樽拳という会社もできたようですし、逆に、いろいろなところがやっている芸妓にはもう触れないでほかにやったらどうかという意見もありました。

それで、先ほどの若木委員の意見なのですけれども、この自治協議会で何かこれという目標を作ったほうがいいのではないかということだったのですけれども、私は今回の特色ある区づくり予算を拝見していて、何か内容がぼんやりしているなどずっと思っていて、なぜこのような思いになるのかなと思って考えてみたら、やはり、目標がないからなのです。逆に、例えば、数値目標が載っていたら、それに向かって新潟市は頑張るのだなということが市民にも分かりやすいと思うのですけれども、今はあまり表立って出ていないというのが少し残念かなと思っています。そういう話をすると、ホームページに数値目標が出ているよと言われるのですけれども、探してみても意外と見つからないのです。その辺、市民が疑問に思ったときにぱっと分かるようなホームページづくりもしてほしいし、やはり、皆さんがおっしゃるように、目標がないと、何か全体的にぼやっとしてしまうというか、私たちもどこを向いて走っているのか分からないというところにもつながると思うので、目的、姿、区の将来像というものが分かったほうがいいのかなと感じました。

(議 長)

ありがとうございます。

(樋口委員)

関屋小学校区コミュニティ協議会の樋口です。

新潟市をトータル的に考えた場合ですけれども、新潟市で日本一のものは何があるのかと思ったときに、一番長い信濃川が流れています。それから、米、酒に大事な越後平野があります。そういうところに観光資源がないというように言っていますけれども、今、平面的に物事を見ていますが、長い信濃川であり広い越後平野を上から見たらどうなのだろうと。トキエアもできました。そうすると、米、酒、それから地域観光というものを組み合わせて、何か活性化できないだろうかと考えまして、これからは二次元ではなくて三次元の企画の考え方をし、取り入れていったら面白いのではないかと思います。

(田中 (雅) 委員)

湊地区コミュニティ協議会の田中です。

先ほど、特色ある区づくり予算の事業の報告の中で、都市公園活性化事業として白山公園と弁天公園を集中的にという報告をしましたけれども、第3部会として現地調査もし、以前から、私もずっと思っていることが、白山公園の辺りは、りゅーとぴあを造るときにあの辺を一体的に開発するという方向性から開発されて、とてもよい新潟市の資産だと思っています。四季折々、とても素敵なところで、私の散歩道なのですが、りゅーとぴあの事業、東京交響楽団の定期公演をはじめ全国で唯一自治体が運営しているダンスカンパニーNoismなど、芸術性が高く評価されているのです。一方で、文化とあまりなじみのない方との温度差が激しいように思います。

何を言いたいかという、白山公園からりゅーとぴあ、やすらぎ堤の開発まで含めて、さまざまな部分が複合的に素晴らしい資産としてあるにもかかわらず、これが区民として、新潟市民として最大限生かしてきていない。先ほど、若木委員がよい投げかけをしてくれたと思うのですが、複合的に物事をとらえて、核心を突きつつも、今ある資産を生かすというのでしょうか、ないものねだりしないで、新潟市の中にある資源を如何に見直して色づけして享受していくかということが、わが自治協議会で少しでも先鞭をつけることができたらいいなと思う次第です。

(議 長)

ありがとうございます。

(森本委員)

新潟水辺の会の森本です。

先ほど、皆さんの話を聞いて思ったのは、特に樋口委員がおっしゃっていましたが、見せ方です。どのように見せるか。先ほど田中（雅）委員がおっしゃったように、素晴らしいものがたくさんあると。それをどう見せるかということをしっかり考えてみたいと思います。

（議 長）

ほかにありませんか。

よろしいですか。そろそろ時間も来ましたので、最後に、会長の私から総括してみようかなと思います。

数日前の新潟日報に、人口の話が出ていました。皆さん、お読みになったと思うのですが、今、77万から80万人くらい人口があるのが、2050年には61万人。恐らくもっと早く減るので、合併前の新潟市くらいの人口に戻ってしまうのではないかと私は思っております。そうなったら我々も非常に大変なのですが、よくよく考えると、新潟市というものは、先ほど皆さんが言ったように、全国に誇れる米と酒があります。それから自然の環境を考えてみても、信濃川、阿賀野川、日本海、鳥屋野潟、そしてずっと広がる水田があります。そして、ラムサール条約の自治体認証を受けました。非常に素晴らしい環境があります。さらに、あまり気づいている人はいらっしゃらないかもしれませんが、駅と港と空港がこれだけ近くに集約している都市は少ないそうです。新潟市の場合は高速道路が来ていまして、バイパスが縦横無尽に走っていると。いろいろな政令指定都市がありますが、環境に関しては、新潟市ほど恵まれたところはあまりないのではないかと思います。

先ほど、樋口委員が上空から見たらまたが違うのではないかとおっしゃったのですが、恐らく、上空から見たら、それらの素晴らしい設備、先ほど田中（雅）委員がおっしゃっていた公園とかりゅうとぴあを含めて、素晴らしい地域だと思うのです。それを踏まえて、我々の中できちんとした将来に残せるようなまちづくりを、皆さんから意見をいただいて作っていけばいいのではないかと。そして、この自治協議会というのは、まちづくりをする本当に貴重な場であると思います。だから、より一層皆さんで新潟のまちづくりをもっと深く考えていこうと思っておりますので、皆さんよろしくお願いたします。

4 その他

（1）委員からのお知らせ

(議 長)

ありがとうございました。続きまして、その他です。
皆さんから、何かお知らせはありますか。どうぞ。

(松川委員)

鉄道・公共交通研究家の松川です。若木委員が代表をしています「新潟市の公共交通を考える会」のシンポジウムが11月25日に行われましたが、その講演録といった形で、財界にいがたの52ページから4ページほど載っておりますので、興味のある方は、ぜひ、ご覧ください。

(森本委員)

新潟水辺の会の森本です。12月9日、「水辺シンポジウム」ということで、ラムサール条約の自治体認証をされた新潟市をどう考えていこうかというシンポジウムを2時間半やりました。YouTubeにアップされていますので、ぜひとも見ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(議 長)

ありがとうございました。
続いて、事務局から連絡です。

(2) 令和5年度中央区自治協議会年間開催日程について

(事務局)

ありがとうございました。事務局から2点、ご連絡です。

皆様のお手元にお配りしてあります「令和5年度中央区自治協議会年間開催日程について(予定)」をご覧ください。1点目、区独自研修会「にいがた2kmについて」は、本日開催する予定でしたが、日程変更し、2月の全体会議の前に開催させていただきます。時間は同じで、2月22日の午後2時から開催させていただきます。全体会議は2月22日の午後3時から予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

3月の全体会議は正式な日程はまだお話ししていませんでしたが、3月19日に開催させていただきます。これが今年度最後の自治協議会となります。こちらは午後3時からとなりますので、よろしくお願いいたします。各部会でもお話ししておりますが、市長との懇談会を3月の全体会議の際にさせていただきます。また、同日の午後2時から教育ミーティングを予定しています。午後2時から教育ミーティングをして、3時から自治協議会なのですけれども、その前半は市長との懇談会という流れになります。よろしくお願いいたします。

	<p>2 点目、上之山委員よりご提案いただいている委員提案に基づく討議については、2月に行う予定です。事前にお配りした資料はまた次回、そのまま使わせていただきますので、お持ちいただければと思います。事務局からの連絡事項は以上となります。</p> <p>5 閉会</p> <p>(議 長)</p> <p>皆さん、今日はどうもありがとうございました。もう師走、年末なので、皆さん、よいお年をお迎えください。どうもありがとうございました。</p>
県議・市議	3名
傍 聴 者	1名
報道機関	0社